

天平元年の班田の時に、使ひの葛城王、
山背国より薛妙観命婦等の所に贈りし歌一首

四四五五番

あかねさす 昼は田賜びて ぬばたまの 夜の暇
に 摘める芹これ

薛妙観命婦の報へ贈る歌一首

四四五六番

ますらをと 思へるものを 太刀佩きて 可爾波
の田居に 芹そ摘みける